

「競技・審判上の確認」及び「会場使用上の注意」

1. 競技規則について

- (1) 本大会は、2025年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則により実施する。  
ただし、ネットの高さは2m24cmとする。また、すべての試合を3セットマッチとし、1・2setは21点制（デューズ無し）、3set目は15点制（デューズ無し）とする。  
なお、大会使用球はミカサ5号球（V300W）とする。
- (2) トーナメント戦とする。新人戦の上位チームをシードとする。  
〔シード〕 井原クラブ・ABC・アリアーレ岡山・フェニーチェ備南VBC

2. チーム構成について

- (1) チームの構成は、部長・監督・コーチ・マネージャー・トレーナー・ドクター各1名、試合ごとに14名の選手（リベロ2名を含む）をエントリーする。エントリーシートは、プロトコール5分前までに大会本部へ提出すること。  
※試合ごとのエントリー変更がないチームは、受付時にその日の最大試合数分を提出してもよい。
- (2) 大会申込書に記載された、部長・監督・コーチ・マネージャー・トレーナー・ドクター・選手のエントリー変更は大会当日のチーム受付まで可能とする。変更があるチームは、エントリー変更用紙に記入し、受付で提出すること。受付終了後の変更は認めない。変更がない場合もエントリー変更用紙は提出すること。
- (3) 監督及びコーチは、公益財団法人日本スポーツ協会指導者資格（コーチ1以上）を有しているものとする。尚、有資格者は、試合中、公益財団法人日本スポーツ協会指導者登録証を準備し、常に身につけておくこととする。  
（カードレスの登録証を選択された方は、JSPOマイページからご準備ください。）  
※移行措置として、コーチは2025年10月1日付で有資格者となる場合、有資格者として認める。

3. 競技参加者について

- (1) 監督・コーチ・マネージャーのいずれかは責任のとれる成人とし、それぞれ左胸部にマークをつけなければならない。また、チームキャプテンは、胸の番号の下に規定のマークを付けることとする。
- (2) 監督は、記録席に最も近い位置でチームベンチに座る。また、他のメンバー同様、コート上の選手に指示を与えてもよい。ラインジャッジの判定を妨げない、または遅延させない限り、アタックラインの延長戦からウォームアップエリアまでの、自チームベンチ前のフリーゾーン内で、立ちながらでも歩きながらでも指示を出すことができる。
- (3) ベンチスタッフは、統一されたウェアを着用する。部長や監督がジャケットを着用し、その他のスタッフが統一された服装であれば許可される。ただし、統一された服装であっても、タンクトップのような形状のシャツ類、短パン、ハーフパンツは許可されない。
- (4) 公式練習を含め、競技場内には正式にエントリーされたメンバー以外は立ち入らないようにする。

4. リベロ・プレーヤーについて

- (1) リベロ・プレーヤーは、チームの他の選手と、主要な部分の色が異なるユニフォームを着用しなければならない。ユニフォームの色は、チームの他の選手とは明らかに対照的でなければならない。リベロベストの着用は認めない。
- (2) リベロ・プレーヤーは、試合ごとに2人まで登録することができる。

5. 試合当日の日程について

- (1) 会場の開館時刻は8時30分とし、別に定める日程で進行する。  
※女子会場は8:00よりコート設営を行います。各チーム指導者の方はご協力お願いいたします。
- (2) 第1試合目以降は、追い込み方式をとり、原則、前試合終了10分後にプロトコールを開始する。

## 6. 試合前、試合間の練習について

- (1) 第1試合目までの設定時間については、以下のとおりとする。

8時30分	開場（各チームは、待機場所に移動し、準備を行う）
8時30分～9時00分	フリー練習
8時45分～	チーム受付・監督会議（組み合わせ抽選含む）
9時00分～	開会式 （コート整備の後、プロトコール開始）

- (2) 公式練習中は、近接したコートにボールが入らないように、登録選手、スタッフでボールコントロールを行う。
- (3) 公式練習を両チームが別々に行う場合、ネットを使用しているチームの妨げにならないよう、もう一方のチームはエンドライン後方のフリーゾーンまたは自チームベンチ前にてウォームアップを行う。
- (4) 試合間の練習は、近接したコートにボールが入らないように配慮しながら行う。フロア以外の館内や外でのボールを使った練習は禁止する。

## 7. 審判・補助役員について

- (1) 参加チームの帯同審判員で主審・副審を行うものとする。各チームの帯同審判員の1名以上は、有資格者であること。
- (2) 組み合わせに記載されているチームが補助役員を担当する。  
補助役員は、線審4名、記録2名、点示2名の計8名で行う。
- (3) 補助役員は、プロトコールの開始に間に合うように集合し、所定の位置につくようにする。
- (4) 主審・副審は、規定の審判着を着用すること。
- (5) 線審用のフラッグは各チームで準備すること。

## 8. 画像や映像の取り扱いについて

- (1) 撮影許可証を身につけたものしか撮影を許可されない。撮影許可証は、各チーム最大5枚までとし、大会終了後必ず本部に返却すること。
- (2) 大会に関わる画像や映像を、許可なくWEB上に公開することは禁止する。ただし、会場内や体育館前等で、当該チーム関係者のみが写っている場合は掲載可能とする。
- (3) WEB上に、特定のチームとの試合内容・解説や別チーム・選手の評価等の書き込みを禁止する。ただし、謝意のみを伝えること、当該チームや選手が、大会全体を通じて得たこと等は掲載可能とする。
- (4) いずれの場合もチーム責任者が内容を確認し、責任をもつこととする。
- (5) 撮影に関する留意すべき事項が守られていないチームは、来年度の参加を見送るなどの措置を行うものとする。

## 9. 「給水のためのタイムアウト」の取り扱いについて

- (1) 本大会は、リードするチームが1・2setは11点、3setは8点に達したとき、30秒間のタイムアウト（以下WTO）が自動的に適応される。その際、副審が吹笛をし、コートを退くよう促し計時する。  
ハンドシグナルは示さない。
- (2) このWTOは給水を目的とするものであり、その間選手はウォームアップエリア（付近）で給水を行う。またチームスタッフはベンチに座っているものとする。（給水を行うか否かの判断は、選手本人の意思によるが、給水を行わなくても同エリア内に留まること。控え選手も同様である。）
- (3) 第3セットは、8点でコートチェンジをした後に引き続きWTOとなる。その際、主審側を通過してコートを移動したチームの最後尾の選手がベンチ側のサイドラインを通過した時点で、副審が吹笛し、計時を進める。
- (4) タイミングが遅れた場合は、確認できた時点でWTOを適用する。

## 10. その他

- (1) ウォームアップエリアを設けるが、エリア内でのボールの使用は禁止する。
- (2) セット間はエンドライン側のフリーゾーンでボールを使用することができるが、隣のコートへの妨げにならないように配慮し、パス程度とする。
- (3) ベンチには、競技に必要な飲料水・救急用品（消毒用品含む）・タオル・うちわ・ボール以外の物品の持ち込みを禁止する。ただし、試合中のボールかごは競技エリアの外まで下げることとする。（空きチームも同様）また、うちわの使用は、セット間・タイムアウト・WTOのみとする。それ以外は、保持することなく、ベンチもしくはウォームアップエリアで保管すること。
- (4) 試合中、汗でコートが濡れた場合は、速やかに各自のタオルでふき取る。主審又は副審の指示でモップを使ってもよい。
- (5) タイムアウトの要求は、オフィシャルハンドシグナルを明確に示して要求する。サブスティテューションについては、クイックサブスティテューションシステムを採用する。
- (6) 試合開始時や試合終了後には、選手同士や審判団（主審・副審）との握手を励行する。
- (7) 大会の目的を理解し、バレーボールとしてふさわしくない行為はしない。（威嚇や暴言、挑発行為等）
- (8) その日の競技に関する連絡事項は、朝のチーム受付・諸連絡で各チームの代表者に伝える。それ以降は、変更が発生するたびに事務局 LINE や館内アナウンス等で各チームに周知徹底する。

## 11. 会場より

- (1) 利用規則に従い、マナーのある行動に努めてください。特に、駐車場の利用、上下足の区別については、十分に配慮し、保護者への連絡も含めチーム内で徹底してください。
- (2) 貴重品の管理等は、各チームで責任をもって行ってください。
- (3) 各チームで出たゴミ等は、必ず持ち帰ってください。お帰りの際には、体育館の美化、清掃にご協力ください。
- (4) 忘れ物が無いようご注意ください。
- (5) 体育館内のコンセントの利用は禁止です。